

ひびきコンテナターミナルの公営化以降について、  
各年のコンテナ取扱量の目標、実績個数（TEU）  
及び各年度の歳入額、歳出額（千円）の推移

1. コンテナ貨物取扱量

	実績
平成19年	54,166TEU
平成20年	54,820TEU
平成21年	20,735TEU
平成22年	18,924TEU
平成23年	22,217TEU
平成24年	38,705TEU
平成25年	41,210TEU
平成26年	37,852TEU
平成27年	36,064TEU
平成28年	41,611TEU

2. 目標値について

- ・コンテナ取扱量の単年度の目標値は設定していません。
- ・平成25年3月に策定した北九州市物流拠点化戦略基本方針では、平成27年に太刀浦・ひびきコンテナターミナルを合わせて、64万6千TEUを目指すこととしています。

なお、北九州港における他地域の取扱量の推移を勘案し、ひびきのコンテナ取扱量は、10万TEUを目指しています。

3. ひびきCTに係る港湾整備特別会計の歳入・歳出決算額（単位：千円）

	歳入額	歳出額	収支差額
平成19年度	107,411	482,460	-375,049
平成20年度	164,021	508,016	-343,995
平成21年度	84,395	392,788	-308,393
平成22年度	78,800	383,659	-304,859
平成23年度	112,895	393,691	-280,796
平成24年度	156,033	387,577	-231,544
平成25年度	160,386	342,723	-182,337
平成26年度	128,654	319,921	-191,267
平成27年度	129,074	318,820	-189,746
平成28年度	145,408	346,599	-201,191